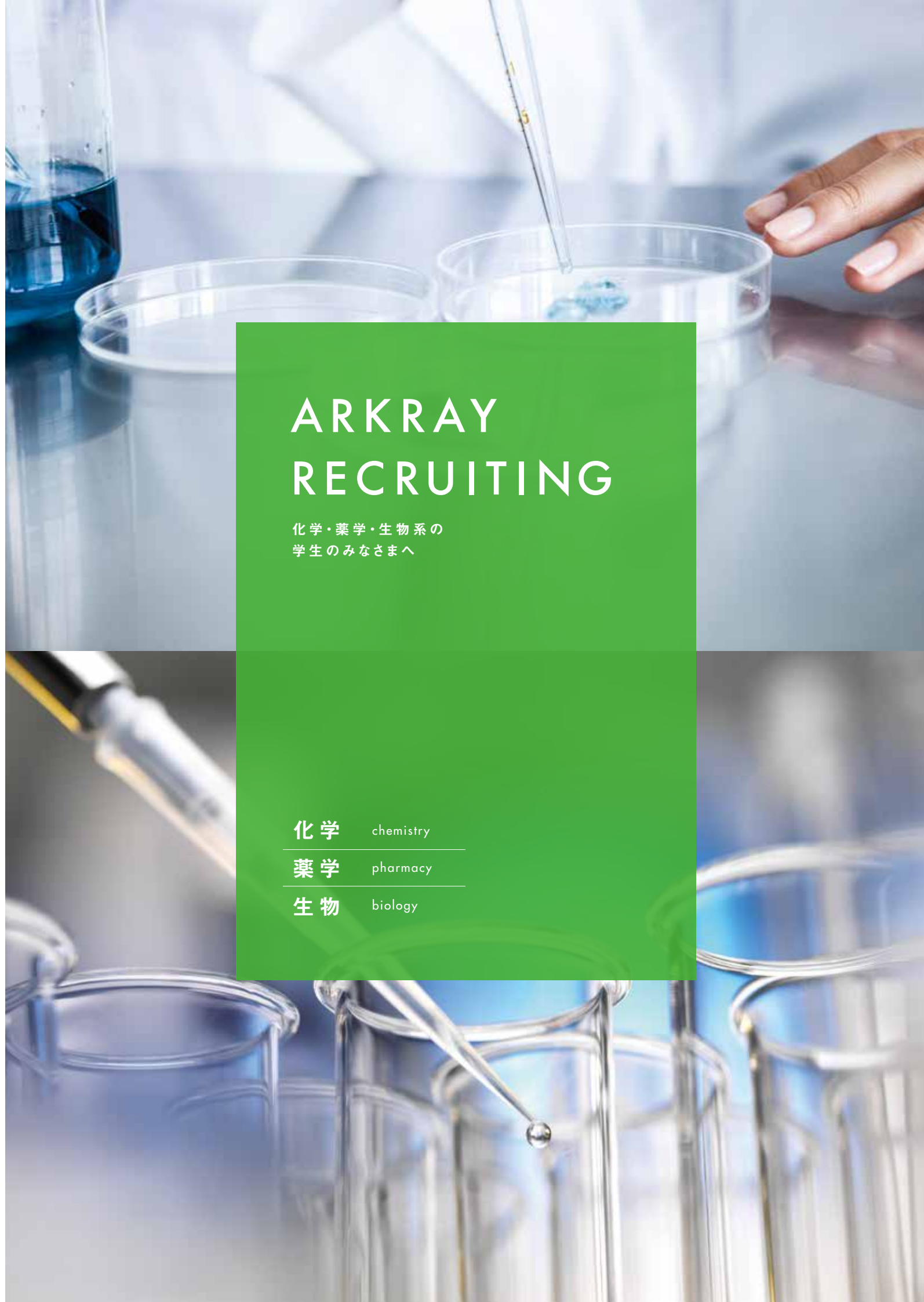




ARKRAY RECRUITING

化学・薬学・生物系の
学生みなさまへ

化学	chemistry
薬学	pharmacy
生物	biology

chemistry , pharmacy , biology

化学・薬学・生物

アークレイならではの組織体制が 一人ひとりの大きな成長を促す

アークレイの職種は専門分野ごとに分かれています。縦割の組織体制ではなく、
職種の垣根を越えた横のコミュニケーションを密接に取りながら連携しています。
幅広い知識を身につけ、多様な経験を積み、医療業界のプロフェッショナルとして成長できる環境です。

価値ある研究を経て 新製品の開発に挑戦

最新の市場状況や学術論文から新規検査項目の探索や測定技術の開発に挑戦する仕事です。既存商品の改善活動を通じ、より高い付加価値を持つ測定試薬を実現します。お客様の信頼を獲得し維持するために日々地道な実験を繰り返し、製品を研ぎ澄ましています。また、海外を視野に入れて最先端の情報をインプットする努力も欠かせません。いつか世界中で広く普及するような製品作りや研究活動を目指し、前向きに取り組んでいける環境です。



職種と専攻マトリクス

職種	分野	研究領域	技能	電気電子系	情報システム系	機械系	化学系	薬学系	医学系保健系	生物系
研究開発職	機器開発	電気系	アナログ回路・基板設計技術	○						
			デジタル回路・基板設計技術	○						
			品質設計技術	○						
			各種規格対応	○						
		情報系	ソフトウェア品質		○					
			コーディング		○					
			モデリング要求定義		○					
		機械系	光学系設計技術			○				
			流体工学設計技術			○				
			成形品加工技術			○				
			駆動系設計技術			○				
			伝熱設計技術			○				
	試薬開発 / 学術	化学系	化学熱力学、有機化学、無機化学、電気化学、高分子化学				○	○	○	
		薬学系生物系	核酸・遺伝子、代謝、タンパク質、アミノ酸、脂質					○	○	○
生産技術職			機械系			○				
			電気電子系	○						
			情報系		○					
			化学系				○	○	○	○
サービスエンジニア職			機械系			○				
			電気電子系	○						
			情報系		○					

アークレイが挑む！世界を変える研究の軌跡

アークレイの医療機器は国内外を問わず、さまざまなところで活躍しています。
世界にインパクトを与える研究開発の一例をピックアップしました。

01

title

独自のAIアルゴリズムで
画像データを自動分類



尿沈渣領域で初の自社開発となる自動分析装置「オーションアイ AI-4510」は、尿中の有形成分を撮影し、独自のアルゴリズムで画像を自動分類、腎疾患や尿路疾患の診断材料となるデータ提供が可能です。1時間に60検体の分析が可能で、尿中の赤血球や白血球、扁平上皮細胞など12項目を自動で測定できるのが特徴です。臨床検査技師による手動での分析業務の効率化も図れます。

02

title

アフリカの地域医療向上に貢献！
給排水設備のない場所でも
使用可能



急速な都市化や食生活の偏りなどが原因で糖尿病患者が急増するサブサハラ・アフリカ地域の医療現場に向け開発された、簡易型血液型分析装置「The Lab 004」。肝機能と腎機能のスクリーニングの検査ができる小型軽量の製品で、モバイルバッテリーでも駆動可能のため、電力供給が不安定な地域でも測定が可能です。

03

title

たった90秒で結果判定
小型化により地域の
小規模病院でも使用可能



国内で予備軍を含む糖尿病患者数はその数1,000万人を超えるといわれています。2019年7月に発売した「The Lab 001」は、たった90秒、指先血1滴でHbA1c値の測定が可能。日々の血糖管理の様子がその場でわかり、患者さまも自身の服薬や生活改善の効果を実感しやすく、治療に向き合うモチベーションアップにもつながります。

04

title

新型コロナウイルスの
PCR検査装置を開発！
迅速な検査体制の拡大に貢献



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止には、早期発見に向けた検査体制の拡充が不可欠です。「i-densy IS-5320」はPCR検査を全自動化し、結果報告が迅速に出せるだけでなく、医療従事者の負担も軽減。「新しい科学技術への挑戦を通じて、世界中の人々の健康な生活に貢献する」という理念のもと、新型コロナウイルス検査体制の拡大に貢献します。

05

title

血液5ミリリットルから
高精度で7種類のがんの
超早期発見に貢献



血中にわずかに存在するマイクロRNAを、物理的に凝縮し定量化する独自の測定技術を駆使した製品を開発中。試薬も自社で手掛ける強みを生かし、高コストの酵素を使用しない検査方法を考案しました。安価かつ、複数の検体の同時検査が可能で、卓上型で操作性にも優れているため、小規模病院での検査ニーズにも貢献しています。

06

title

重金属測定システム開発で
アンチエイジング市場に朗報！



人間は食料、飲料、空気から日々体内にごく微量の重金属を取り込んでおり、通常は尿や便から排出されるものが加齢とともに徐々に体内に蓄積されていきます。この蓄積量の検査に、現状は薬と水の服用後6時間の蓄尿が必要かつ検査センターを経て患者さまが結果を得られるのは1か月後です。アークレイは簡単な3ステップでの検査を可能にし、ますます拡大するアンチエイジングとキレーション市場に大きく貢献しています。

世界中の人々に、
ずっと笑顔でいてほしい。

アークレイが大切にしているこの言葉を胸に
私たちは日々、挑戦を繰り返しています。
すべては世界中の人々の笑顔のために。
過去の常識を超えて。
常に挑戦者として。

詳しくは
採用HPへ



arkray

研究開発と多職種とのコミュニケーションで 新たな製品を生みだす

T.M

不撓不屈の精神で世界に誇れる製品の開発を目指す

患者さまご自身が自宅で血糖値を測定できる、自己血糖測定器の開発を担当しています。これはアークレイの主力製品のひとつでもあるのですが、世界中で競合他社がひしめく、より低価格で高い性能を持つ製品の開発に努めています。この反比例する要求事項をいかにして両立させるかが課題です。日々の成果は微々たるものですが、不撓不屈の精神で取り組んでいます。そしていつかは世界規模の学会などで自信をもって発表できるような製品を開発できればと考えています。

M.I

チーム一丸となって迅速な課題解決を

これまで遺伝子や生化学の試薬開発に挑んできて、最近では血液凝固検査装置の試薬を担当しました。主な役割は、共同研究先の病院との社外評価と、製造移管です。上市まで残り半年というタイミングで参加したため時間が限られており、何か課題があったらチーム一丸となって取り組み、迅速に解決できるよう心がけました。無事に上市でき、家族から「製品発売のニュースリリースを見たよ」と言われたときはすごうれしかったです。また、開発フェーズの重要な部分を任せていただき、無事に成功に導けたことで自信にもつながりました。

K.H

新製品の可能性を信じ、これからも進化させたい

私は尿中の有害重金属を検出する、SiIIBe（シルビー）という装置の開発に携わっています。SiIIBeはアークレイが医療機器だけでなくアンチエイジング領域へ進出する足がかりとして注目されている製品です。測定原理から非医療機器の薬事関連など、初めてのことで大変でしたが、それだけ大きく成長できたように思います。開発後の展示会でも好評の声を多数いただき、苦勞が報われました。SiIIBeの可能性はまだまだ始まったばかりなので、今後も開発者としてこの事業の発展に尽力していきたいです。



T.M

研究開発本部
2018年入社

M.I

研究開発本部(生物)
2017年入社

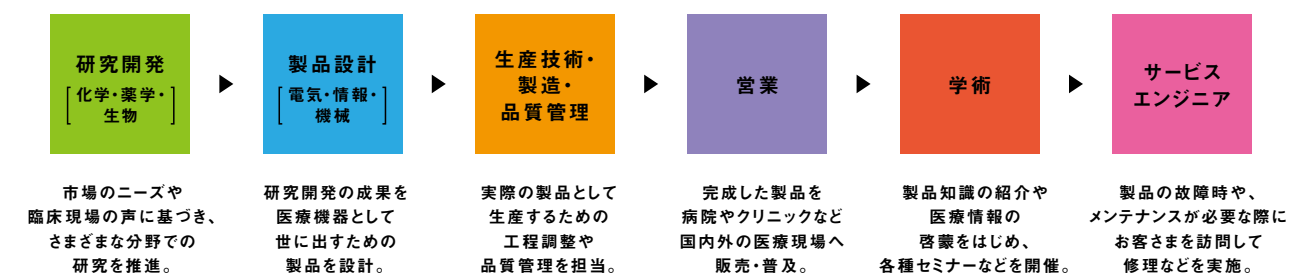
K.H

研究開発本部
2008年入社

chemistry × pharmacy × biology

化学 × 薬学 × 生物

アークレイのものづくりの流れ



1日のスケジュール

研究開発本部(化学) T.Mさん

1日のスケジュールを確認し、実験の準備を進める。	実験開始。チーム全体の効率を考えて、複数の実験を同時に行うことも。	ニュースを確認しながらランチ。	チームメンバーとミーティング。進捗確認と今後の方針の協議。	実験を進めながら、特許や論文を調査。ほかのチームと相談することも。	実験結果を報告書にまとめて帰宅。帰宅後は体力作りのランニングへ。
🕒 9:00	🕒 10:00	🕒 12:00	🕒 13:00	🕒 15:00	🕒 18:00
🕒 9:00	🕒 9:30	🕒 10:30	🕒 13:00	🕒 13:45	🕒 18:00
メール対応と1日の予定の確認。	週に1度のテーマミーティング。実験内容を共有し、今後の方針を決定。	血液凝固テーマのレビューで受けた指摘・質問について、先輩に相談。	学術の先輩と遅めのランチ。13時以降は食堂が空いていてゆったりできる。	生化学テーマの実験。調合する試薬を変更した複数の試験紙を試作。	実験完了後、メール対応を終えて退社。先輩方と飲みに行くことも。

研究開発本部(生物) M.Iさん

member's voice

挑み続ける
パイオニアたちの声

さまざまなバックボーンを持つアークレイの社員。

学生時代にどのような取り組みをしていたか、
アークレイに入社してどのような挑戦をしたかなど、
本人のリアルな声を紹介します。

分子素材工学専攻
T.Hさん 2013年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

細胞を用いた腹膜透析の研究です。短期間ながらアメリカに留学し、知識を深めるだけではなく異文化交流にも力を入れました。

message

さまざまな知識を応用し、
俯瞰的な視点を大切に。

薬事や生産技術、営業など多くの方と関わりがあり、さまざまな知識が身につきました。今後はその知識を応用し、俯瞰的な考えでプロジェクトを円滑に進められるようにするのが目標です。

アークレイでの挑戦

コミュニケーションの工夫で、
患者さまと良好な関係を築く。

フィリピンで実際に患者さまと接する機会を持てたことです。現地の言葉を学び、積極的に話しかけてリラックスしてもらえたように思います。アークレイを知ってもらい、今後のつながりもできました。

高次生命科学専攻
S.Sさん 2018年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

大学院での研究と並行して、居酒屋のアルバイトにも力を入れました。課題解決の姿勢と積極性が今も活きているように思います。

message

2つのスキルを伸ばして、
新たな製品を生み出したい。

いつかは自身が発案した製品を世に出せたらと思っています。そのためにはニーズを捉える視点と、技術者としてのスキルアップが必要なので、一つひとつの事に積極的に取り組んでいます。

アークレイでの挑戦

前向きに取り組むことで
活路が見いだせる。

「わからないのは当然。ではどうするか?」を意識し、どんな業務も前向きに取り組んできました。今は海外の製品販売に向け、現地社員との積極的なコミュニケーションを心がけています。

総合化学専攻
R.Aさん 2018年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

大学院までの合計6年間の実験を通じて、実験計画やレポート作成スキル、考察力を身につけることができました。

message

専門用語を交えた海外との
やり取りを経て、成長を実感。

アメリカのグループ会社からの依頼で、検査に使う試験管の調査・評価をする業務がありました。専門用語が多く、意思疎通に苦労しましたが徐々に慣れていき、意図が伝わった時はとてもうれしかったです。

アークレイでの挑戦

世の中のニーズを汲み取り、
価値ある製品開発を。

医療検査機器や診断薬は市場が確立しており、競合他社との差別化が難しくなっていますが、世の中にはまだまだ多くのニーズがあります。今後、一人でも多くの人々の役に立つ製品を開発したいです。

応用生物学専攻
K.Oさん 2018年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

英語が好きで、国際的なイベントのプレゼンターを務めたり、イギリスへ留学したり、英語力を磨きました。

message

仕事の効率を意識して
チームで作業を進めていく。

アークレイはチームで進めていく仕事が多いため、良い意味で人に頼る力が身につきました。先輩方からノウハウを積極的に学び、仕事の効率が向上しているのを実感しています。

アークレイでの挑戦

会社としての資産を守り、
さらなる進化を果たす。

生化学の試薬改良に挑戦しています。先輩方によって作り上げられてきた資産を守りつつ、より良いものに進化させることが目的です。ユーザーに価値を提供できるように、さらなる改良を重ねていきます。

メディカルゲノム専攻
Y.Kさん 2014年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

ドイツでの語学研修やフィンランドでの福祉医療の研修のほか、大学の管弦楽団サークルに所属し、楽器の練習に励みました。

message

社外の専門家に意見をもらい、
製品の開発に役立てる。

社外の歯科医院を訪問し、開発中の製品を評価しにいったときのことです。歯科医の方から直接アドバイスをいただき、実際の診療の様子を見ながら評価できたのが印象に残っています。

アークレイでの挑戦

アークレイ初の歯科領域で
入社1年目から現場の最前線へ。

入社1年目から開発の最前線で仕事をさせていただき、挑戦の日々でした。アークレイとしては初となる歯科領域の製品開発にも携わり、既存製品とは異なるフローを経験できて良かったです。

保健学専攻
T.Tさん 2017年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

中学・高校とバスケットボール部のキャプテンを務めており、責任感とチームをまとめる力を身につけることができました。

message

責任の大きさだけ、
達成感がある。

開発業務において、上司から言われたことをただやるだけでなく、自ら考えて、手を動かせるのがアークレイらしさかなと思います。その分、責任は大きいですが達成感も大きいです。

アークレイでの挑戦

困難な研究でも諦めず、
試行錯誤を繰り返す。

化学発光を利用した高感度検査の可能性検討を行っていました。市場で求められる性能を達成するのはなかなか難しく、試行錯誤の繰り返しでしたが、前向きに取り組めたように思います。

環境応用化学専攻
K.Mさん 2018年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

私の研究テーマはデータが乏しく、試行錯誤の繰り返しでしたが、自らの意向で進めやすかったこともあり、ワクワク感でいっぱいでした。

message

研究もイベントも真摯に
全力で取り組む会社。

会社の雰囲気として、何事もまじめに取り組む風土があるように思います。普段の業務は真摯に研究開発に向き合っていて、仕事外のイベントの時も組織全体で盛り上げようとしている姿勢を感じます。

アークレイでの挑戦

課題解決の繰り返しで、
挑戦の日々。

研究を進めていく中で課題を見つけ、それを解決するために実験をしています。するとまた別の課題が生まれて、どうすべきか模索を繰り返し、常に課題解決の戦いという意味で日々、挑戦の連続です。

応用医工学系専攻
Y.Iさん 2013年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

大学のサークルで性感染症予防の啓発活動を実施し、学内外の方々とコミュニケーションが取れたことは良い経験となりました。

message

論理的思考力や創造力など
自分で考える力が付く。

研究開発をしていると疑問や課題が日々生じてきますが、それらに向き合い、一つずつ解決していくことで論理的思考力や創造力が鍛えられます。若手のうちから自分で考える力が付いて、成長できる環境です。

アークレイでの挑戦

社内の自己学習支援制度を活かし、
スキルアップをサポート。

過去の海外出張で英語力が足りず、歯がゆい思いをしました。そこで、社内の自己学習支援制度を利用して英語を勉強し、抵抗なく会話ができるようになり、挑戦して良かったと思っています。

食物栄養学専攻
N.Mさん 2014年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

食物アレルギーの研究です。小学生の頃から勉強したいと思っていた分野で、友達にあきられるほど研究優先の生活でした。

message

人間関係がフラットで、
挑戦を大事にしている環境。

性別や年齢を超えた仲間ができ、気軽にコミュニケーションが取れるフラットな環境です。また、挑戦を大事にする社風なので、キャリアや部署に限らず、やりたいことに挑戦できるチャンスが多くあります。

アークレイでの挑戦

失敗して悔しい思いをしても、
前向きな姿勢を忘れない。

大学での専攻が化学系ではなかったので、配属されてからずっと挑戦ばかりです。大きな失敗をして悔しい思いをしたこともありますが「なんでも前向きにやってみる」を合言葉に取り組んでいます。



COLUMN

無限の可能性を追求し、
研究開発という飽くなき挑戦を。

この職種は、部署を横断して研究開発を行っているのがポイントです。試薬系でも製品知識を身につける姿勢が求められるほか、生産技術や営業といった部署とも関わりながらプロジェクトを進めていきます。時には社内にノウハウがない研究や、学生時代の専攻と異なるテーマを担当することも珍しくありません。そんな時でも、周囲が必ずサポートしてくれるのも魅力です。また、研究職は海外との接点が多いので、グローバルに活躍するチャンスが多いのも特徴。スケールの大きさや、やりがいを感じながら、最先端の仕事に取り組めます。